

一般質問



議会中継アクセス

QRコード



定例会開会前にやっている市民憲章朗読の様子（11月26日）

一般質問は議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政機能をチェックするために行うものです。

第4回定例会の一般質問は10名の議員が、原田市長の4期目就任に伴い掲げた7つのプログラムに関する事など、さまざまな視点から質問を行いました。

一般質問は4ページ～9ページに要約を掲載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。



自民党惠義会 川原光男 議員

自衛隊駐屯地の体制維持強化活動の推進について

問 自衛隊駐屯地の体制維持強化活動の推進について考えを伺います。

答 これまでも、体制維持・強化に向け、議会をはじめ市民一丸となつて要望活動に取り組んでおり、今後も国や関係機関に対し、自衛隊駐屯地の体制維持・強化を要望するとともに、長い歴史の中で培ってきた自衛隊との良好な関係を維持しながら、自衛隊と共存共栄するまちづくりを進めて参ります。

問 北恵庭駐屯地は、第72戦車連隊が駐屯する本市にとって重要な駐屯地です。来年度に向けて第72戦車連隊の1個中隊の削減、部隊数を減少させて良いのか、このような状態をどう考え、どのような施策を考えているか伺います。

答 防衛大綱に示されている方針とはいえ、非常に残念に思っています。引き続き関係機関と協力し、部隊が地域で果たす役割など、地域の実情を訴え、体制維持強化の要望活動を強く継続したいと考えています。

問 正面の要望活動のほか、戦国時代に活躍した武田軍の軍師、山本勘助のように、相手に深く浸透して細部を理解し、適切な指揮官に本市の考えの理解を求め、行動しようという気持ちになっていただけるような誘致活動も考慮してはどうかと考えますが、ご所見を伺います。

答 基地調整用務は、自衛隊出身職員を配置し、きめ細かに対応しているほか、要望活動の場だけでなく、各駐屯地の記念行事や市開催の各種行事など、様々な機会を捉え要望して参りたいと考えています。



北恵庭駐屯地正門

その他の質問項目

・原田市長4期目の就任にあたり示された7つのプログラムについて



公明党議員団 生本 富士代 議員

高等学校等入学準備金支給額の増額及び奨学金制度の創設について

問 高等学校等入学準備金支給額の増額及び奨学金制度の創設について考えを伺います。

答 経済的に厳しい状況においても子どもたちが不安なく修学できるよう支援するとともに、コロナ禍で影響を受けた世帯等への支援として、現在の事業内容の見直しを行って参りたいと考えています。

また、奨学金制度の創設は、今後他市町村での実施事例等を調査、研究して参ります。

問 高校生活の中で短期留学費用や全国大会参加費用など、まとまったお金が必要な場合があるかと思えます。こういうスキルアップに必要な経費を応援する意味で人材育成の観点から奨学金制度を創設する考え方について、ご所見を伺います。

答 人材育成の観点からも奨学金制度について、調査研究して参りたいと考えています。

問 高等学校等入学準備金制度が給

付型となり6年が経過しました。コロナ禍もあり教育費の負担軽減を指しての支給額増額について、ご所見を伺います。

答 高等学校等入学準備金支給事業は、入学時にかかる教科書等を想定していますが、教科書以外にも教材費、ジャージ、制服などの費用もかかることから、支給額の増額など一定の経済的負担の軽減を図ることが必要と考えています。見直しの具体的内容は、政策的なことのため、今後、市長部局と調整のうえで決定していきたいと考えています。



令和3年度恵庭北高校入学式

その他の質問項目

・「産後ケア事業」について、ケアラー支援の取り組みについて



公明党議員団 松島 緑 議員

マイナンバーカード及び「地方版マイナポイント」について

問 地方版「マイナポイント事業」について伺います。

答 地方版マイナポイント事業は、活用方法によってはマイナンバーカードの普及だけでなく、地域活性化など、まちづくりにつながるものと考えられますが、一方で、手続が煩雑であり、スマートフォンやパソコン所有者に限定されるなどの課題もあり、慎重な対応が必要となりますので、今後、調査・研究を進めて参ります。

問 宮崎県都市では、地方版マイナポイントとしてマイナンバーカードを取得された方、取得済の方に7千ポイントが地域通貨アプリで給付されており、市内の様々な業種の加盟店で使えるキャッシュレスアプリを使っているとのこと。市民への申請支援も充実しており、早い時期から商業施設や会館に向いて手続を行い、市民の方が5人以上集まれば直接出向いて申請手続も行っていましたが、今年8月からは一人でも依頼があれば出向いて申請手続

のサポートを行っているということでした。恵庭市としても、さらにきめ細やかな取り組みが必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 都市は、全国で3番目に取得率が高いまちで、全国で初めて出張申請支援を始めたまちとして取り上げられています。交付率、取得率を上げるためには、多くの方に申請していただく必要がありますので、企業や町内会などの団体を対象とし、まずは交付率を上げることを優先したいと考えています。



マイナンバーカード

その他の質問項目

・新型コロナワクチン接種について、ワクチン接種証明書について、子宮頸がんワクチン接種について



民主・春風の会 澁谷敏明 議員

「魅力あるまちづくりプログラム」について

問 自然溢れる盤尻地区のまちづくりの具体的な取組を伺います。

答 魅力ある公園の整備、レクリエーション機能の整備・拡充、紅葉バスツアーなど恵庭溪谷等の活用、観光振興計画の推進等について、今後関係部局との連携や民間活力の活用などにより、施策の展開を図って参ります。

問 恵庭溪谷等の活用課題を現状どのように把握しているか、アフターコロナにおける盤尻地区の観光面での取組について、どのような施策を計画しているか伺います。

答 通年の観光資源としては、認知度不足とプロモーションに課題があると認識しており、駐車場、トイレなどハード面の整備、充実も必要と考えています。観光面の施策は、アフターコロナにおいて、道内外の観光客の周遊、インバウンドの回復が期待されますので、体験型コンテンツの導入などにより、溪谷観光の通年化と効果的な情報発信により、地

域観光の魅力向上と誘客促進を図りたいと考えています。

問 体験型コンテンツの導入などに関し、具体的な内容、スケジュールを伺います。

答 認知度向上に向けた観光パンフレットの配布は既に取り組んでいますが、駐車場及びトイレなどハード面は、今後北海道との協議が必要です。体験型コンテンツとして予定するホーストレッキングは、コロナウイルスの状況を注視しながら、実施時期を検討したいと考えています。



白扇の滝

その他の質問項目

・コロナ克服プログラムについて、子育て支援プログラムについて、まちづくり推進プログラムについて



市民と歩む会 柏野大介 議員

骨髄バンクドナー助成制度の導入について

問 骨髄移植は、白血病などの患者さんにとって重要な治療法のひとつですが、ドナー（提供者）は仕事を複数回休む必要があるなど、経済的負担も伴います。道内において恵庭市が率先してドナー支援の助成制度を設ける意義は大きいと思います。制度導入の考え方を伺います。

答 本市としては、ドナーの経済的及び身体的負担軽減は重要と考えますことから、北海道や北海道骨髄バンク推進協会などのご意見も参考に、骨髄移植の推進に取り組んで参りたいと考えています。

問 実際には仕事を休めず断念される方が多い現状から、休みやすい環境整備のため、企業への休暇制度創設の働きかけが重要と思います。特別休暇などを取得させた企業に対する助成も一部の自治体で行われていますが、その点について伺います。

答 骨髄提供の際の休業補償制度は、北海道の見解では、国が創設する必要がありますと示されています。

で、道と情報共有しながら、国に対し制度創設を働きかけていきたいと考えています。

問 治療の可能性を高めるためには、一刻も早く助成制度を創設する必要があると思います。遅くとも来年度予算の中で、盛り込むべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 先進自治体を参考に、助成単価や上限日数など、市民団体の方の声を伺いながら、整理した段階で骨髄移植の推進に取り組んでいきたいと考えています。



「私たちのまちで骨髄ドナー助成制度を考える会」勉強会の様子

その他の質問項目

・終活支援制度の導入について、特別職報酬の改定について



市民と歩む会 新岡知恵議員

高齢者等インフルエンザワクチン接種について

問 恵庭市では、市内医療機関での高齢者等インフルエンザワクチンを自己負担1,000円で接種できる助成制度を実施していますが、市外医療機関での接種も助成対象とすべきと考えます。市外医療機関での接種に係る課題を伺います。

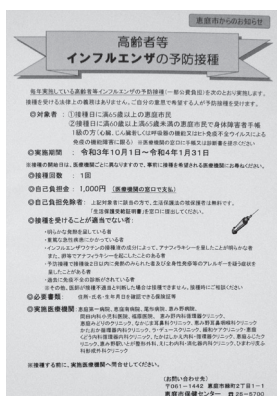
答 北海道が策定した「インフルエンザワクチン安定供給方針」に基づき医薬品卸売販売業者、医療機関においてワクチンの安定供給を図っており、市外医療機関での接種を助成対象とした場合、市場に流通するワクチン在庫量に影響を与えることとなり、需給のバランスを乱しかねない課題が考えられます。

問 道のワクチン安定供給方針は国の通知に基づくことから、市外接種も助成対象とする他の都道府県も同様の供給方法が取られていると思います。ワクチンの需給バランスが崩れることが市外接種を助成対象としない理由にならないと思いますが、ご所見を伺います。

答 恵庭市だけ市外近隣市の医療機関を助成対象とした場合、本市以外の方々のワクチン供給量に影響を及ぼすことから、近隣各市の連携も必要になってくると考えます。

問 かかりつけ医が市外にしかない高齢者などの状況を踏まえ、市外接種も助成対象とするよう前向きに検討すべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 道外自治体の先進事例もあることから、これらの事例とメリット、近隣自治体の範囲やワクチンの供給体制などについて、今後調査研究し、管内の担当者会議において情報交換したいと考えています。



高齢者等インフルエンザワクチン接種啓発ポスター

その他の質問項目

・不登校支援について、ひきこもり支援について



自由民主党清和会 宮利徳議員

ガーデンフェスタ北海道2022について

問 自家用車による来場者の想定に基づき、南島松に約1,300台を収容できる仮設駐車場を整備したとのことですが、会場や仮設駐車場の近隣は、未就学児や小・中学生が非常に多い地区で、交通事故等に大変危惧しています。ぜひ北海道フェア開催前までに交通安全啓発を行っていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 メイン会場への来場は自家用車による方が多いと予想しており、松園線の沿線は、交通車両の誘導なども行いますが、混雑することも想定されます。南島松の仮設駐車場周辺には、小さなお子様をお持ちの方も多いことから、北海道フェア開催前には、近隣の幼稚園・保育園・小中学校を通じて、注意喚起のお知らせを配るなど、交通安全啓発を行って参りたいと考えています。

問 南島松の仮設駐車場からメイン会場までは約700mの河川管理用通路を歩いていたたく計画ですが、

この距離をマイナス要因として終わらせるのではなく、見方を少し変え、歩いている距離や時間を本市における花の取り組みなど、クイズ形式の看板を設置し、楽しく歩いているような仕組みを取り入れていただければと考えますが、ご所見を伺います。

答 南島松仮設駐車場からメイン会場の通路は、北海道らしい広大な景観を演出するため、通路沿いにキカラシの植栽を検討していますが、看板の設置は、歩いて来場される方々が飽きないよう工夫しながら、検討して参りたいと考えています。



「はなふる」を空から望む

その他の質問項目

・アフターコロナにおいてのスポーツ振興、花の拠点運営事業



自由民主党清和会 石井美季 議員

「はなふる」を拠点としたグリーンツーリズムについて

問 グリーンツーリズムが「はなふる」と結びつくことに大きく期待するところですが、これが実現した場合どのような効果があると考えるか伺います。

答 「はなふる」は、多くの集客が期待できることから、グリーンツーリズムの情報発信の場として施設紹介、パンフレット等の配置により、「はなふる」から農村部へ人の誘導を促したいと考えており、多くの人に本市のグリーンツーリズムを知っていただくことで良質な農畜産物のPR、消費拡大、更には農業への関心と理解の深まりに期待しています。

問 恵庭市が更に活性化するには、グリーンツーリズムを含めて、他にも市内の数ある観光地や、飲食店などを周遊できる環境整備が必要と思われまます。今後、グリーンツーリズムに集客力が付いてきた場合、次のステップとしては、農村部から市街地へ誘導することが本市の活性化につながると思いますが、ご所見を伺

います。

答 恵庭市には多くの魅力ある施設が存在しており、市内観光スポットのパンフレットやフードマップを花ロードえにわ、「はなふる」のセンターハウス、JR三駅に配置しているほか、花ロードえにわと「はなふる」では、デジタルサイネージで観光情報を紹介しています。今後、グリーンツーリズム施設も情報発信の場として市内観光パンフレット等の配置にご協力いただき、郊外地から市街地への誘導、更には郊外地間の誘導を図りながら本市全体の活性化を進めて参りたいと考えています。



グリーンツーリズムの推進が期待される農村地区の風景

その他の質問項目

・水と緑のまちづくりについて、ウィズコロナの市民生活について



自由民主党清和会 南出典彦 議員

都市計画マスタープランと今後のまちづくりについて

問 旧市民活動センターの2階は、店舗よりサテライトやコワーキングスペースとして活用も可能だと思います。今後の移住政策とも関連し、人の流れをつくるためにも考えられると思いますが、ご所見を伺います。

答 一般的に2階部分が店舗に向いているかどうかは課題と考えており、今後の一つの案として検討させていただきます。

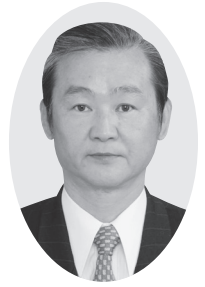
問 一つの提案として、すみれ公園には盆踊りの「やぐら」に兼用できるような遊具を設置しては如何でしょうか。都市計画マスタープランに「魅力ある公園整備」の記載があり、地元から遊具不足が指摘されているのであれば、魅力ある遊具、設備で子どもに一度は遊びたいと言わせる公園の整備をお願いします。また、旧市民活動センターが整備されるまでの間、暫定的にキッチンカーを集めた定期的なイベントを催しては如何かと思えます。主催は地元が中心に行うことでエリアマネジメン

トの初期段階と思えますし、キッチンカーの出店機会拡大からの起業も重要な駅通り活性化のための誘致だと思えます。イベントの開催により、駅前通りで最も不足している店舗不足の解消、賑わいづくり、地域活性化につながると思いますが、ご所見を伺います。

答 まちづくりの専門家から、恵庭市へ移住し起業する方が多いことから、意向や動機などを聞き取り、駅前通りの活性化に活かせないかとの提案もされており、キッチンカーによる賑わいづくりも一連の策として有効と思われるので、旧市民活動センターを所管する財務室と協議し、検討したいと考えています。また、すみれ公園の遊具も、提案を参考にしながら、これからの活性化につなげていきたいと思つてます。



都市計画マスタープラン



自由民主党清和会 伊藤 雅 暢 議員

子ども発達支援センター

問 療育の要諦である早期の診断は、極めて専門性の高い小児医療の分野であり、ごく少数の小児神経科及び小児精神科の診断分野です。センターがすぐに答えや方向性を出せないのは診断できる人がいないからです。月に1回の小児神経医による発達相談事業では不十分です。この対応で十分と考えているのか確認します。

答 現状ではニーズに応じた相談になつていてと考えますが、今後ニーズやご意見等も含め、不十分な点があれば見直していきたいと考えています。

問 療育に関する訓練の開始は、時間との闘いです。療育のスタートは専門的診断から始まり、診断に基づく訓練の開始と同時並行で行われるカンファレンス、いわゆる症例検討会での評価や課題強化の繰り返しです。関係スタッフもまだ資格を持っているだけでなく、この分野の臨床経験を持っていないければ話になりません。

これから先、対象者の長く続く人生を考えたとき、行政の療育に対する役割を根本的に変えるべきであり、訓練施設と対象者を繋いでいく役割に特化すべきです。この点の認識について伺います。

答 子ども発達支援センターの職員体制について、現在、言語聴覚士はありますが、作業療法士の配置がありません。このため、平成30年度より社会福祉法人から作業療法士に来ていただき、通所児童の発達評価を行っていますが、経験を有する指導員の配置は必要と考えていることから、職員募集の際に資格を持つ方又は経験をj持つ方を募集しているところです。



子ども発達支援センター

市議会をもっと知りたい

生の市議会を見る



議場には傍聴席があり、お名前や住所のご記入など簡単な手続きで入ることができますので、生の市議会を見てみませんか。

インターネットで市議会を見る

生中継 録画中継



市議会での話し合いの様子を、スマートフォンやパソコンで見ることができます。

4ページに掲載しているQRコードをご利用いただくと便利です。

会議録を閲覧する

本会議や常任委員会などの会議録を閲覧することができます。

本会議等会議録
アクセスQRコード



常任委員会会議録
アクセスQRコード

